

スポーツ・健康まちづくり【那須塩原モデル】で地域活性化プロジェクト

—那須塩原スポーツコミッション始動！—



スポまち！長官表彰2023
⑧ 栃木県那須塩原市

<目標分野> ※該当するものに全て

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病氣予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

<目標内容>

【スポーツによる交流人口の拡大・地域活性化】

昨年開催されたいちご一会「とちぎ国体・とちぎ大会」による国体レガシーと、スポーツと市内の豊富な地域資源を活かした「那須塩原らしい」まちづくりにより、交流人口の拡大、地域活性化を目指す。

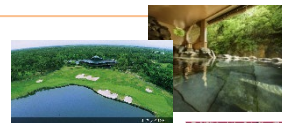
【市民誰もがライフステージに応じたスポーツを！】

市民誰もがスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことに参加し、スポーツに親しむことができる環境づくりの実現。

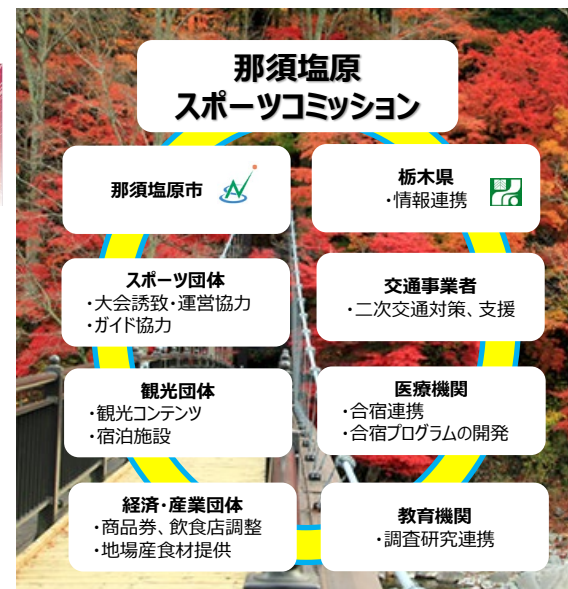
○目標値 (KPI) 市民のスポーツ実施率 現状値 36.4% ⇒ 目標値56.4% (全国平均)

<PRポイント>

- ① 豊かな自然、多種多様な温泉、魅力的な地域食材、豊富な宿泊施設
全国でも有数の温泉地である塩原温泉、板室温泉を有し、約200の源泉から湧き出す温泉と約70の宿泊施設、那須塩原ブランド認定の食材でおもてなし！
- ② 多彩なスポーツ環境
国体競技（サッカー、トライアスロン、ゴルフ、ソフトテニス）をはじめ、アウトドアアクティビティまで！
- ③ スポーツをする・はじめる・継続する機会の創出
市民誰もがスポーツに関わることができる体制整備⇒年齢、経験に応じたスポーツ教室や大会の開催。



<継続的な取組を確保できる体制（図）>



<概要> 計画期間 令和10年3月31日

<現状・課題>

本市では、JAPAN PLAYERS CHAMPIONSHIP（男子ゴルフ）やJDリーグ（女子ソフトボール）などの集客を見込めるプロスポーツ大会の開催やスポーツ合宿を現在も支援しており、今後も市をあげて支援が必要である。こういった大会や合宿の盛り上がりには、「地域から盛り上げる」ことが大切であり、合宿や大会の開催の誘致や支援をし、地域資源を最大限に活かしたスポーツツーリズムの中核を担う行政と民間団体等が連携した組織の設立が必要である。

⇒スポーツを核としたまちづくりの推進⇒市内外の交流人口の拡大⇒地域活性化

<総合的な取組内容>

スポーツ・健康まちづくり【那須塩原モデル】

① 合宿・大規模スポーツ大会の誘致、開催支援

⇒相談・支援窓口をワンストップ化

② 合宿飯の開発

⇒那須塩原ブランド食材を使用し、合宿飯を那須拓陽高校と開発

① 自然資源を活用したスポーツの推進

⇒自転車、スキー、トライアスロン、ゴルフ、アクティビティ) の推進

② 子供から高齢者までスポーツに親しむことのできる環境の整備

⇒体験教室（eスポーツ等）や、年齢、経験に応じたスポーツプログラムの提供

交流人口拡大・地域活性化・地域課題の解決



③ 本市独自の合宿プログラムの開発

⇒地元医師会、プロスポーツチームと連携しプログラムを開発

④ 新たなスポーツツーリズムの開発

⇒スノーシュー、SUP、eバイク、eスポーツ×ツーリズム！

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先：那須塩原市教育委員会事務局 教育部スポーツ振興課
- 地方スポーツ推進計画：第2期那須塩原市スポーツ推進基本計画
- 地方版総合戦略：第2次那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 地域スポーツコミッション：那須塩原スポーツコミッション（令和5年9月25日設立）



【フォローアップ欄】 令和6年度以降における計画の進捗状況

【問合せ先・電話番号】 0287-37-5439
栃木県那須塩原市教育委員会スポーツ振興課